

2025年3月期（第56期）決算補足説明資料

テナライド株式会社

2025年5月27日

I N D E X

◆2025年3月期の業績動向について

- ・ 店舗状況
- ・ 経営成績に関する状況
- ・ 財政状態に関する状況
- ・ キャッシュ・フローに関する状況

◆2026年3月期の見通しについて

店舗状況 - 店舗数の状況

※関東のFCのレストラン業態1店舗を含みます。

【業態別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
旬鮮酒場天狗	5店舗	—店舗	—店舗	—店舗	—店舗	5店舗
テング酒場	17店舗	—店舗	△1店舗	△2店舗	△3店舗	14店舗
神田屋	32店舗	3店舗	△1店舗	△6店舗	△4店舗	28店舗
てんぐ大ホール	27店舗	1店舗	△1店舗	9店舗	9店舗	36店舗
ミートキッチンlog50	2店舗	—店舗	—店舗	—店舗	—店舗	2店舗
和食れすとらん天狗	15店舗	—店舗	—店舗	△1店舗	△1店舗	14店舗
湊や磯吉食堂	—店舗	1店舗	—店舗	—店舗	1店舗	1店舗
合 計	98店舗	5店舗	△3店舗	9店舗	2店舗	100店舗

※「テング酒場」の業態変更は、「てんぐ大ホール」へ2店です。
※「神田屋」の業態変更は、「てんぐ大ホール」へ6店です。
※「和食れすとらん天狗」の業態変更は、「てんぐ大ホール」へ1店です。
※ FCの「テング酒場」1店を直営店へ変更、「てんぐ大ホール」としてリニューアルOPENしております。

【地域別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
関東	85店舗	5店舗	△3店舗	8店舗	2店舗	87店舗
関西	4店舗	—店舗	—店舗	—店舗	—店舗	4店舗
中部	9店舗	—店舗	—店舗	1店舗	—店舗	9店舗
合計	98店舗	5店舗	△3店舗	9店舗	2店舗	100店舗

店舗の状況 -新店及びリニューアル店について

1.新規出店状況

「神田屋」3店、「湊や磯吉食堂」1店、「てんぐ大ホール」1店を出店

- 【 神田屋 暁 】 東京駅やエチカ店、目黒セントラルスクエア店、ウイングキッチン京急鶴見店
- 【 湊や磯吉食堂 】 ウイングキッチン京急鶴見駅前店
- 【てんぐ大ホール】 川越クレアモール店

今後、「湊や磯吉食堂」、「神田屋 暁」、「てんぐ大ホール」の出店を加速してまいります。



2.リニューアル状況

新業態	旧業態	店舗(全9店)
てんぐ大ホール	神田屋	渋谷センター2号店、赤羽東口店、川口東口店、鶴見東口店、津田沼店、池袋サンシャイン通り店、水道橋東口店
	テング酒場	名古屋堀内ビル店、※川越クレアモール店(FCから直営化)
	和食れすとらん天狗	上板橋店

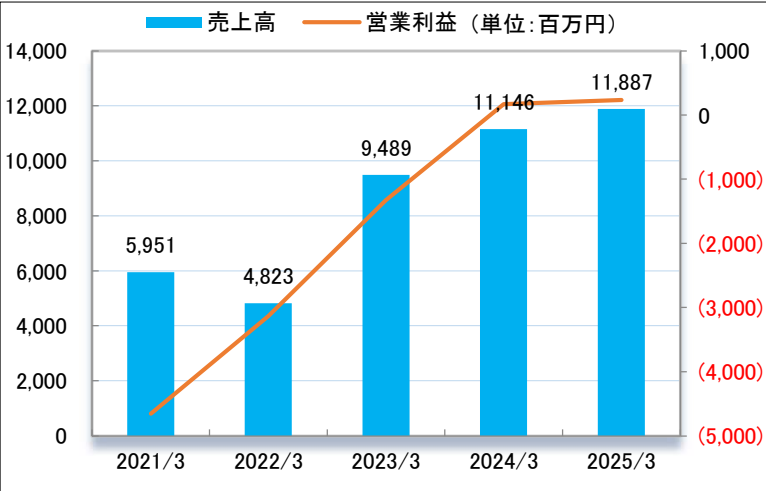
首都圏・中部で主に繁華性の高いエリア内店舗をリニューアルし集客力向上を図りました。
その他、神田屋業態内におけるブランド変更を6店舗で実施しました。

経営成績に関する状況①－概況（連結）

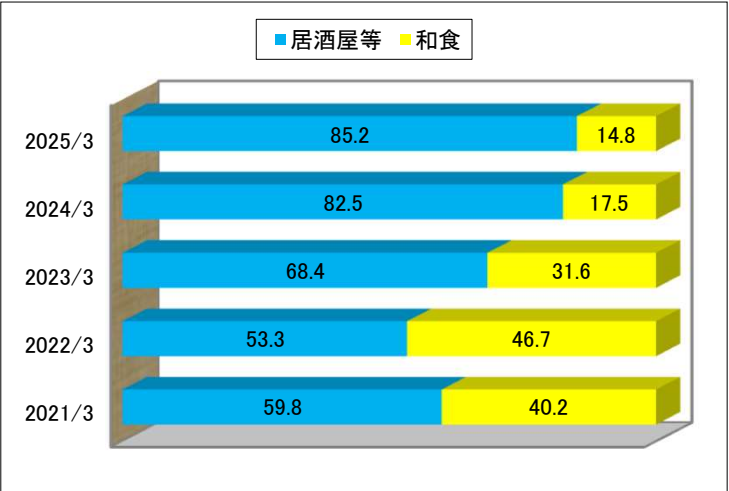
連結実績(百万円)	前期(2024/3期)	構成比%	当期(2025/3期)	構成比%	増減率%
売上高	11,146	100.0	11,887	100.0	6.6
売上原価	3,191	28.6	3,378	28.4	5.9
売上総利益	7,955	71.4	8,508	71.6	7.0
販管費	7,786	69.9	8,276	69.6	6.3
営業利益	168	1.5	232	2.0	37.8
営業外収益	49	0.5	45	0.4	△8.7
営業外費用	48	0.4	48	0.4	1.0
経常利益	170	1.5	229	1.9	34.6
特別利益	1	0.0	—	0.0	△100.0
特別損失	103	0.9	38	0.3	△63.0
税金等調整前当期純利益	68	0.6	191	1.6	178
当期純利益	27	0.3	145	1.2	426.2
1株当たり当期純利益	0円83銭		3円87銭		
自己資本当期純利益率	1.2%		5.2%		
総資産経常利益率	2.1%		2.9%		

経営成績に関する状況 ー売上高・売上構成の推移

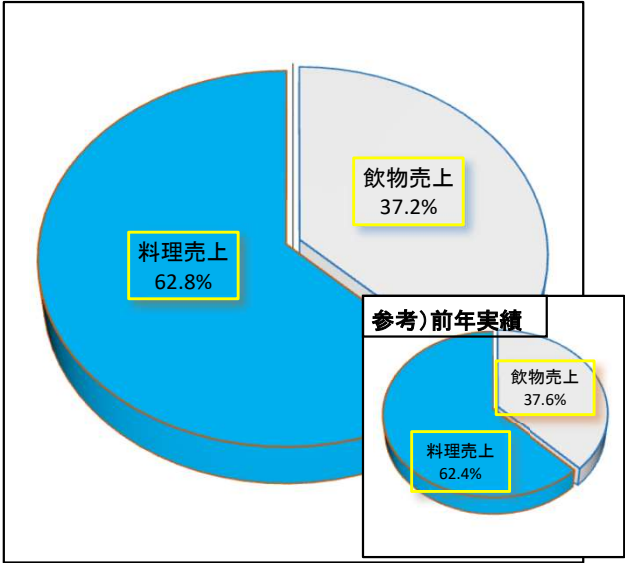
売上実績推移（※1）



業態別売上構成比（※2）

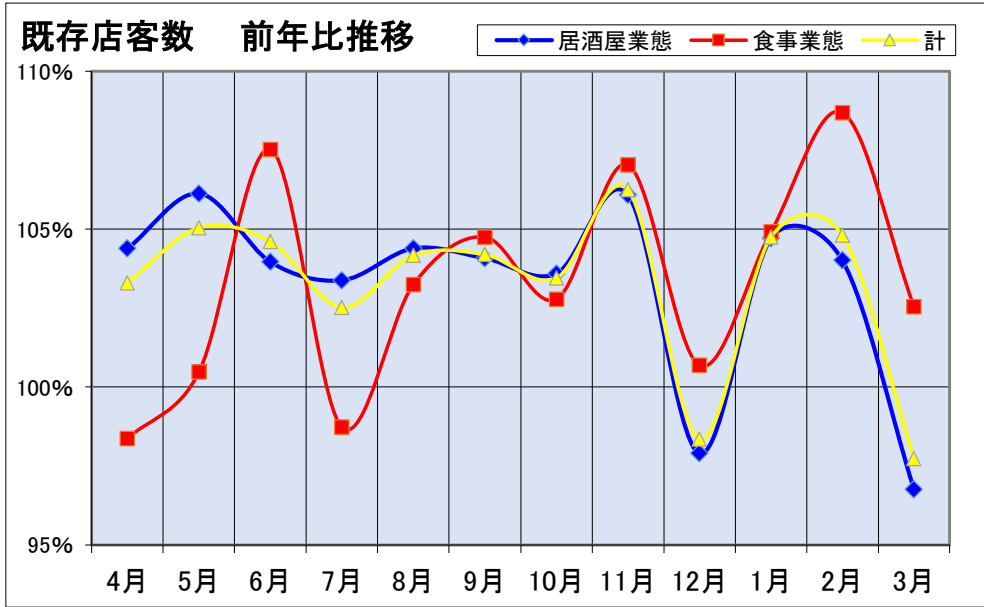
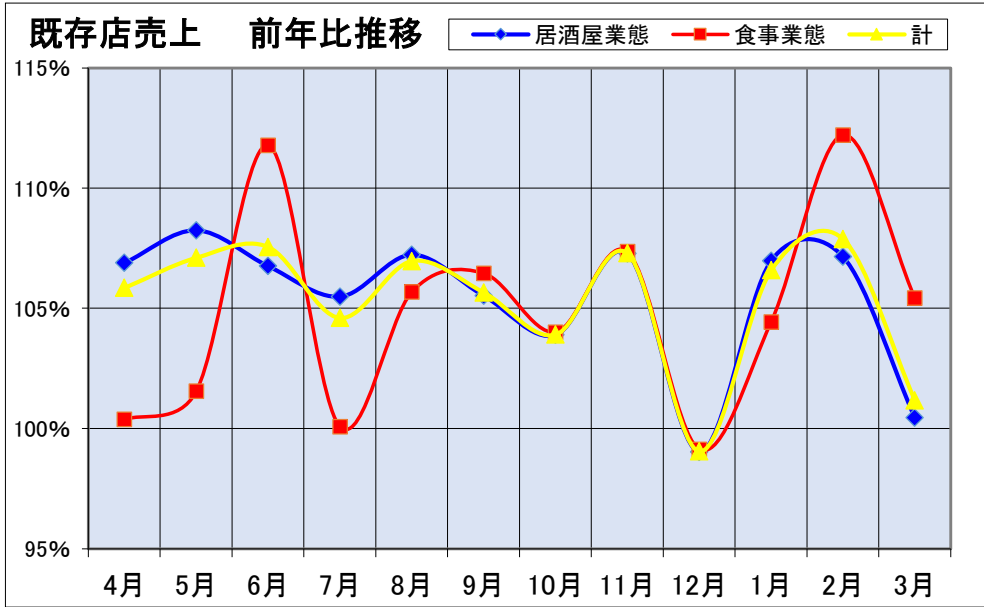


品種別売上構成比（※3）



- 売上高について(※1)
個人消費の回復が進み経済活動の正常化が進んだこと、加えて、多様化する消費者ニーズに対応した業態転換等が支持を得られた結果、売上高は大幅に増加しております。これに伴い2025年3月期は**2期連続の黒字**となりました。
- 業態別売上構成比について(※2)
業態転換により居酒屋等の店舗売上高が伸び、構成比も増加しております。
- 品種別売上構成比について(※3)
2024年3月期よりランチ時間帯の売上構成比が増加したことにより、料理売上の構成比が増加しております。

経営成績に関する状況－既存店売上の推移



既存条件：同月のフル稼働店舗のみを対象（リニューアル期間は除く）。

客単価（上記条件で抽出）

	前期平均	当期平均	増減率
旬鮮酒場天狗	2,100円	2,158円	102.7%
テング酒場	1,818円	1,928円	106.1%
神田屋	1,942円	1,936円	99.7%
てんぐ大ホール	1,794円	1,822円	101.6%
ミートキッチンlog50	2,979円	3,147円	105.6%
和食れすとらん天狗	1,603円	1,626円	101.5%

- 売上・客数について
全業態が回復基調にあります。特に食事業態において売上・客数が大幅に増加しております。
- 客単価について
新商品導入、メニュー政策における販売価格の見直し等を行った結果、全体的に客単価が上昇しております。

経営成績に関する状況④ー原価、経費等

売上原価	前期構成比率：28.6%	当期構成比率：28.4%	構成比率増減：△0.2pt
------	--------------	--------------	---------------

国際情勢の悪化や急激な為替変動による原材料価格の高騰の影響を大きく受けたものの、各種メニュー政策やセントラルキッチンの効率的な活用を図った結果、小幅な減少となりました。

人件費	前期構成比率：38.1%	当期構成比率：38.9%	構成比率増減：+0.8pt
-----	--------------	--------------	---------------

給与のベースアップ、賞与の増額、売上増加によるパートシフトの増加、賃率の上昇等により人件費は368百万円増加しましたが、売上の増加に伴い人件費率は小幅な増加となりました。

その他経費	前期構成比率：31.7%	当期構成比率：30.7%	構成比率増減：△1.0pt
-------	--------------	--------------	---------------

前期と比べて店舗改修工事が少なかったことより販管費は1億13百万円減少、加えて売上が増加したことによりその他経費比率は減少しております。

営業外収益・費用	(収益) 当期実績	45百万円 (前期比: 4百万円減少)
	(費用) 当期実績	48百万円 (前期比: 増減なし)

特別利益・損失	(利益) 当期実績	一百万円 (前期比: 1百万円減少)	※主に減損損失の減少
	(損失) 当期実績	38百万円 (前期比: 65百万円減少)	

財政状態に関する状況 ※前期末との対比

連結実績(百万円)	前期末(2024/3期)	構成比%	当期末(2025/3期)	構成比%	増減額
流動資産	4,688	57.2	4,057	53.8	△631
有形固定資産	1,382	16.9	1,288	17.1	△94
無形固定資産	58	0.7	45	0.6	△13
投資その他	2,073	25.3	2,150	28.5	76
固定資産	3,514	42.8	3,483	46.2	△30
資産 合計	8,203	100.0	7,541	100.0	△662
流動負債	3,372	41.1	2,658	35.6	△686
固定負債	2,091	25.5	1,964	26.1	△126
負債 合計	5,463	66.6	4,649	61.6	△813
純資産 合計	2,740	33.4	2,891	38.4	151
負債・純資産 合計	8,203	100.0	7,541	100.0	△662
1株当たり純資産	2円76銭		32円26銭		
自己資本比率	33.2%		38.3%		

- 【資産の主な増減】
- 現預金の減少
 - 売掛金の増加
 - 有形固定資産の減少
 - 投資有価証券の増加(評価益による増加)

- 【負債・純資産の主な増減】
- 短期借入金の減少
 - 賞与引当金の増加
 - 利益剰余金の増加
 - その他有価証券評価差額金の増加

キャッシュ・フローに関する状況

連結実績(百万円)	前期末(2024/3期)	当期末(2025/3期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	297	293	△3
（主な増減）			
税金等調整前当期純利益または税金等調整前当期純損失(△)	68	191	122
減価償却費	249	252	3
減損損失	86	22	△64
売上債権の増減額(△は増加)	△91	△40	50
たな卸資産の増減額(△は増加)	23	△30	△53
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44	△106	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186	△196	△10
（主な増減）			
有形固定資産の取得による支出	△190	△135	54
敷金・保証金の差入による支出	△19	△33	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	418	△722	△1, 141
（主な増減）			
株式の発行による収入	944	1,041	96
短期借入金の増減額(△は減少)	△375	△608	△233
自己株式の取得による支出	△48	△1,029	△1,029
現金(同等物)の増減額	530	△625	△1,155
現金(同等物)の期首残高	3,398	3,928	530
現金(同等物)の期末残高	3,928	3,302	△625

2026年3月期（通期）の見通し

連結（百万円）	2025/3期 （実績）		2026/3期 （見込）		増減
売上高	11,887	100.0	12,481	100.0	594
売上総利益	8,508	71.6	8,974	72.3	466
営業利益	232	2.0	264	2.1	32
経常利益	229	1.9	236	1.9	7
当期純利益	145	1.2	122	1.0	△24
1株当たり当期純利益	3.91円		3.05円		

次期の業績見通しにつきましては、消費者のライフスタイルや行動態様が大幅に変化しているとともに、資源の高騰や関税の影響に伴う物価の上昇により、原材料費をはじめ人件費や水光熱等の様々なコストの上昇が懸念され、厳しい経営環境は依然として継続するものと思われます。

このような状況下において店舗の収益基盤の更なる強化を推し進めてまいります。

テナライドについて

ブランド / 事業紹介



「天狗」、「神田屋」といったブランドを首都圏を中心に全国100店舗展開しております。
お酒や料理を楽しんだり、ご歓談やご会食など、様々なシーンでご利用いただけます。

飲食事業



旬鮮酒場天狗
創業の伝統を受け継ぐ肉豆富とオリジナルビール「ピア・ブラウン」。少人数で日常使いしやすい居酒屋。世界に向けてIZAKAYAを発信します。



炭火串焼テング酒場
旨い・安い・早い・楽しい四拍子を揃え、明日への活力を培うチャージスポット。



和食れすとらん 天狗
家族三代で一緒に楽しめる、気軽にアットホームな雰囲気。毎日の食事から記念日まで利用できる街のマイレ스토랑。



ミートキッチン log50
モダンな雰囲気の中で大人な空間を楽しみながら上質の肉を味わえる肉バル。



神田屋
「ちょっと呑みの気軽さ」を追求した、焼きとん、おでんなどジャンル問わず、様々な広がる変幻自在な新スタイル。神田屋ブランド。



大衆食堂 てんぐ大ホール
昔懐かしい雰囲気の中で、安くて旨い料理と映えグルメをたっぷり堪能！老若男女が笑顔になれるレトロ×モダンな大衆食堂。



湊や磯吉食堂
全国から厳選した食材で、自社製造の干物や焼き魚、煮魚を中心としたどこかホッとする和定食の店。



ジュークステーキ
熟成牛ハラミステーキと、オリジナルパテで焼き上げた、ジューシーハンバーグの店。

「安心と安全」を届けるセントラルキッチン



セントラルキッチン導入により業務効率化、コストダウンおよび衛生面で貢献

農林水産大臣賞を受賞



国産食材の積極使用により第19回国産食材安定調達部門において受賞

陶酔にいざなうオリジナル美酒



自社オリジナルブランドやワイナリー直輸入品を提供